

## 2014「Yukata De Guide Tour」実施報告書



NPO 法人 隅田川・江戸文化観光振興会  
理事長 飯野貴敏

### 【はじめに】

2014年8月2日(土)に、「Yukata de Guide Tour」(以下、過去の浴衣ツアーも含んで「本イベント」と表現します)を皆様のご尽力のもと無事開催、終了する事ができました。

本NPO法人の主催するイベントとしては、2006年より8年間も続いているイベントです。

外国人の方々に「すみだ」の魅力、そして江戸の魅力、日本の魅力を伝えるイベントに成長しつつあります。本年が9回目、来年は10周年を迎えます。

これからも継続的、発展的に開催をして参りたいと考えており、皆様のより積極的なバックアップをお願いしたいと切に願っております。

以下、本イベントの実行内容、成果と課題、という観点からご報告申し上げます。

## 目次

1. 実行内容
  - I. 本イベントの主旨
  - II. 開催に向けた準備
  - III. 当日の実施内容
  - IV. 参加者の概要
2. 成果と課題
3. 添付書類【決算報告】

## 1. 実行内容

### I. 本イベントの主旨

NPO 法人 隅田川・江戸文化観光振興会は、すみだに残る江戸文化をより多くの人に広めたいという思いから、『浅草、両国、向島など隅田川周辺地域を対象として、地域の活性化および観光まちづくりの推進に寄与する事』を目的として2006年5月に設立されました。

当初は、東京都の支援のもと、隅田川の両岸を盆踊りで繋げる「和おどり」をはじめとして、両国の街案内パンフレット、向島のパンフレット作成等「すみだ」に残る江戸文化を広く伝えながら、街づくり、学術、文化、芸術の振興、地元経済の活性化を目指し活動を実施してまいりました。

これまでの活動では、日本人を対象とするイベントが中心でしたが、本イベントについては、海外の方々の日本の伝統文化に対する興味が広まっていることから、伝統的な日本の文化に触れ、実際に体験することで、「すみだ」をきっかけに「日本」をより深く理解し、「すみだ」や「日本」のファンになって欲しいという思いから、旧安田庭園の「納涼の夕べ」および両国2丁目町会の「夏祭り」と時期を合わせて開催を致しております。

### II. 開催に向けた準備

プロモーションについて…本イベントの告知を行い、参加者を集めるために以下の取組を実施しました。

- 制作物: カラーチラシ 2,000 部作成。墨田区観光協会、NPO の Web ページ募集要項作成。

## ■ 広報活動その他

- ◆ 7月初旬墨田区観光協会及び本 NPO メンバーで外国人が多く集まる教会関係、各種外国人向け学校、大学の留学生、その他を延べ3日間回りPR活動を開始した。

その後ドイツ大使館、アメリカンクラブ、ロシア大使館、慶応義塾大学、東京プリンスホテル、港区国際交流協会、社団法人国際文化会館、コスタリカ、パナマ共和国、ウルグアイ、イエメン、ホンデュラス、ハイチ、グアテマラ、ニカラグ、ドミニカ、エジプト、エルサルバドル、エクアドル各大使館の集中する西麻布 38 興亜ビルには、墨田区議会議員井上ノエミ氏の絶大なるご協力を頂いております。感謝申し上げます。

その他リストアップされた上記以外についてもメール及びパンフレットを送付する等の積極的なPR活動を墨田区観光協会と共に実施した。

- ◆ 7月中旬頃からイベントへの申し込み者からのファックスが徐々に増え始めて、意外とお客様の反応が早い事に安心する一方、上記の通りプロモーションに力を入れた為と、今回は墨田区観光課のご協力、水辺ラインの船を一艘チャーターして頂いた事が大きな効果を生んで、沢山のお客様のお申し込みを頂戴し、80名を超えた時点で以後の受付を中止せざるを得ない事態となってしまいました。これは着楽会様の着付けの処理能力を超えた数字である為です。

## Ⅲ. 当日の実施内容

### 【① 受付開始】

スタッフ集合は 14:00。本 NPO メンバー11名、ボランティアスタッフ6名、着楽会殿 25名、観光協会殿 3名、墨田区観光課殿 3名、通訳 2名、合計 50名が集まり、最終打ち合わせを済ませて会場である両国シティーコア 2階会議室を全員で着替えの為の会場設営開始、イベントのスタートを切りました



15:00 先ずはお客様をお迎えするスタッフの着替えが開始され、15:30 第 1 号のお客様がシティーコア受付にお見えになり、2014 年「Yukata De Guide Tour」が始まりました。

受付に現れたお客様と事前申し込み名簿と照合、まず浴衣を選んでもらって着付け開始、これに一人当たり約 10～15 分着楽会メンバーが奮闘を開始。多少の混乱はありましたが、順次着付けが終了したお客様を国技館に案内開始しました。

## 【② 国技館にて】



記念撮影風景

浴衣に着替えた約半分の 40 名の1班が国技館入り口正面に集合し、色とりどりの浴衣の色が眩しい風景の中で、まずは記念撮影後国技館館内へ。続く 40 名の2班は裏門からの入場になりましたが、土俵下まで行き、終了後に広場で写真撮影。それぞれが思い思いの記念撮影をしていました。

## 【③ 安田庭園 納涼の夕べ】



野点 納涼の夕べ

野点 納涼の夕べ

国技館見学を終えた 1 班を旧安田庭園「納涼の夕べ」へ誘導。人数が多いため、まず1班がお茶席へ、続いて2班がお茶席へ、この間 20 分のインターバルで 80 名の人数の野点を担当して下さった遠州流のスタッフの皆様にご感謝申し上げます。

野点の席では毎年山崎区長がお客様のお出迎えをして頂き、さらに観光協会の阿部理事長も同席して頂きありがとうございました。

#### 【④ ナイトクルーズ】

納涼の夕べの会場から道路を隔てた両国船着場へ順次お客様を誘導して、ナイトクルーズの船へご案内。ここで準備した食事と飲み物を配布し、乗船可能なスタッフも同乗して 18:00 無事両国栈橋を出航。食事の内容はイスラム文化の忌避食材を避けた鶏肉と野菜を中心とした美しいお弁当と、ベジタリアンの方がお一人お見えになりましたので、その方にも対応出来ました。

生憎船内のマイクの調子が悪く、適切なお案内が出来なかった事は残念でしたが、準備された食事を皆様美味しそうに召し上がってすぐに席を立ってデッキへ向かわれました。その時のデッキは満員電車並みの渋滞でした。

隅田川を下り、レインボブリッジで折り返し、再度スカイツリーまで北上して両国栈橋へ到着しましたが、誠に残念ながら、スカイツリーのイルミネーションは7時半から点灯されるので、薄暗くなっていった頃に栈橋に到着するも、スカイツリーは未点灯の俣と言う結果になってしまいました。



両国船着場



船内で挨拶 飯野理事長

### 【⑤ 盆踊り会場にて】

踊りの指導は両国二丁目の皆様と踊りの会の皆様で、最初はなかなか踊りの輪の中に入って来ませんでしたが、時間の経過と共に殆どの外国人のお客様が踊りの輪の中に入って来て、指導してくれる方の踊りを見ながら真剣に楽しそうな輪が出来上がりました。



盆踊り会場にて



盆踊り会場にて

### 【⑥ 着替え会場にて】

夢中になった盆踊りも花火で終了し、皆様は着替えの会場に戻ってこられて、着楽会のメンバーの皆様が奮闘が始まりました。さすがに最初の着替えよりも短時間で終了することができて、お客様にアンケートを書いて頂き、そのお礼として多くのお土産を一人一人に渡す事が出来ました。

お土産はエコバッグ、団扇、おしなり君饅頭、絵葉書等がたっぷり入った袋を嬉しそうに抱えて去っていく外国人の皆様を見ながら、こんな企画を喜んでくれた事で改めて「やってよかった！」と実感しながら、スタッフは会場の整理、使用した浴衣の確認・梱包と慌しく動き回り、打ち上げとスタッフの夕食をかねるカプリチオーザに集合できたのは夜 10 時回っていました。

お土産のご提供を頂いた、区役所観光課様、森八様、張福様、日光紙業様ありがとうございました。

そしてイベント受付開始と共に冷たいドリンクを準備して頂いた墨田区観光協会様ありがとうございました。

#### IV.参加者の概要

本イベントの申し込み者については、今回は今までより最も多く 25 カ国と世界各国多岐にわたります。毎年の分布を見てみますと、特定の国がいつも多い訳ではなく、実に様々の国の皆様がお見えになっていることが分かります。

ポイントとしては日本文化の一端を感じて、体験して貰う事で、日本への理解を深めて頂くことが出来るという、本イベントが外国人の間で定着している事が伺われます。

Yukata De Guide Tour 参加者国別

#	国籍	人数	割合	#	国籍	人数	割合
1	日本	13	16%	13	モンゴル	2	3%
2	韓国	11	14%	14	イスラエル	1	1%
3	台湾	10	13%	15	エルサルバドル	1	1%
4	アルバニア	7	9%	16	オーストラリア	1	1%
5	中国	5	6%	17	オーストリア	1	1%
6	米国	6	8%	18	ケニア	1	1%
7	ドミニカ	4	5%	19	スイス	1	1%
8	マレーシア	3	4%	20	ドイツ	1	1%
9	コロンビア	3	4%	21	パラグアイ	1	1%
10	タイ	1	1%	22	フィリピン	1	1%
11	パナマ	2	3%	23	フィンランド	1	1%
12	ベトナム	2	3%	24	フランス	1	1%
				計		80	100%

## 2.成果と課題

アンケートを見ても、参加者にとっては満足度の高いイベントであると自負しております。我々が海外に旅行した場合を考える時、民族衣装を着て、現地の一般の方でも入れない施設に入り、更に伝統文化に触れる事の出来る、食事付半日のツアーであれば、日本円で9,000円以上するパッケージツアーになるものと思われれます。それが墨田区観光課のご好意によりナイトクルーズの船をチャーターして頂いた事も加わって、参加者にとっては4,500円で参加できるという破格の値段で実現出来ており、さらにお土産まで貰えます。

何よりも参加された外国人のお客様が、素直に喜んでくれた事、その事がスタッフにとっては何よりの励みになります。

運営の課題は別にして、最終的にはコストの問題につきまます。NPOとしては全員がボランティアで集まり、運営に関わる人的費用は発生しておりません。

例年に比べて赤字の幅が縮小されているのは、集合・着替えの場所費用が大幅に安くなった事。さらに浴衣のレンタル金額が地元の「たんす屋」様のご協力で安くなった事等を含めても添付資料の通り赤字となっております。

このような状況では、如何にご参加の方々に喜んで頂き、すみだのファンを作る事につながる素晴らしいイベントも継続する事は出来ません。

来年は10周年の記念のイベントにすべく、これまでの反省を踏まえて、素晴らしい企画を練って行きたいと考えております。

関係諸機関のより一層のご協力をお願い致しますとともに、本イベントの運営にご協力を頂きました、墨田区役所観光課の皆様、墨田区観光協会の皆様、通訳の西村様、中村様、着楽会の皆様、両国二丁目町会の皆様、心より感謝と御礼を申し上げて、2014「Yukata De Guide Tour」報告を終わります。